

壁展示

- 【原画】はみだしっ子 part.XIX 「つれて行って」 第11回扉(1980年『花とゆめ』10号)
- 【原画】『チェリッシュ・ギャラリー』収録イラスト(1979年4月20日)
- 【原画】はみだしっ子ブックカバー用イラスト(1981年『花とゆめ』13号)
- 【原画】はみだしっ子 part.VIII 「ブルーカラー」表紙(1979年『花とゆめ』13号)
- 【原画】はみだしっ子 part.IX 「そして門の鍵」扉(1977年『花とゆめ』2号)
- 【原画】はみだしっ子 part.XI 「奴らが消えた夜」2枚(1977年『花とゆめ』22号)
- 【原画】はみだしっ子 part.XIII バイバイ行進曲予告カット(1978年『花とゆめ』11号)
- 【原画】はみだしっ子 part.XIV 「バイバイ行進曲」2枚(1978年『花とゆめ』13号)
- 【原画】はみだしっ子 part.XIX つれて行って 扉(1981年『花とゆめ』11号)
- 【原画】『三原順のトランプランド』パッケージ(1979年1月20日)

テーブル型ケース展示

【遺品】三原順の作品制作に使用された品々

台付ケース

※詳細は別紙をご覧ください。

映像展示

復活！HP「三原順に花束を」コーナー

トランク

スヌーピーのスーツケース

展示期間

期間：2月6日(金)～5月31日(日)

第一期：2月6日(金) - 3月2日(月) / 第二期：3月6日(金) - 4月6日(月)

第三期：4月10日(金) - 4月29日(水・祝) / 第四期：5月1日(金) - 5月31日(日)

休館日：毎週火・水・木曜(ただし祝日は開館)

※特別整理などで休館する場合があります。当館HP、もしくは開館日に電話にてご確認ください。

関連トークイベント

■今こそ読むべき、三原順 ～復活・三原順会議室～

講師：笹生那実、柴咲美衣、立野味、ごだま、雛霞 日時：3月21日(土・祝) 16:00-17:30

場所：米沢嘉博記念図書館 2階閲覧室 料金：無料 ※別途入館料300円がかかります。

■アンジーは私の理想の男性だった！ ～ヤマザキマリ「はみだしっ子」を語る～

講師：ヤマザキマリ(マンガ家) 日時：4月4日(土) 16:00-17:30

場所：明治大学 駿河台キャンパス 料金：無料

■三原順の音楽教室

講師：岡野美代子、立野味 日時：5月16日(土) 16:00-17:30

場所：米沢嘉博記念図書館 2階閲覧室 料金：無料 ※別途入館料300円がかかります。

※スケジュール・内容については変更の可能性があります。

米沢嘉博記念図書館

2014年度 第3回 企画コーナー展示品リスト

没後20年展 三原順復活祭

展示期間

2015年2月6日(金) - 5月31日(日)

第一期：2月6日(金) - 3月2日(月)

第二期：3月6日(金) - 4月6日(月)

第三期：4月10日(金) - 4月29日(水・祝)

第四期：5月1日(金) - 5月31日(日)

主催

明治大学 米沢嘉博記念図書館

企画・協力

鈴木俊裕、白泉社

主婦と生活社、藤本由香里(明治大学教授)

70年代から80年代にかけて、「はみだしっ子」を筆頭にその作品が熱狂的に支持された三原順。1995年3月20日、42歳で病没した直後はそれほど大きく取り上げられたわけではなく、出版界から忘れ去られるかにもえた。

しかしマンガ情報誌で何度も追悼特集が組まれ、ネット上で、同人誌で、ファンたちは熱く語り続けた。

それは三原作品の復刻を求める活動に結びつき、文庫本や復刊本、豪華本の出版など、多くの成果を生みだしてゆく。

三原順の思索の深さ、児童の虐待・原発問題など、今考えるべき様々な問題への鋭的な取り組み。没後20年20冊目の文庫が刊行されるこの期に、今こそ触れてほしいその作品像に迫る。

<p>R008</p> <p>イラスト集 レコード類等</p> <p>『かくれちゃったの だあれだ』(2000年復刻版, 白泉社) / チェリッシュギャラリー『三原順 自選複製原画集』全2巻(1979年~1984年, 白泉社) / サウンド・コミック・シリーズ『はみだしっ子』(キャニオン・レコード, 1983年) / チェリッシュブック『ハツシャバイ』(1977年, 白泉社)</p>	<p>R007</p> <p>『はみだしっ子』文庫 新旧カバーバージョン</p> <p>【旧0装丁】『はみだしっ子』全6巻(1996年) / 『三原順傑作選 70s』(1998年) / 『三原順傑作選 80s』(1998年) / 『ルーとソロモン』全2巻(1998年) / 『IX Day』(1999年) / 『ムーン・ライティング』(1999年) / 『Sond』全4巻(1999年) / 『ピリーの森ジョディの樹』全2巻(2001年)</p> <p>【新装丁】『はみだしっ子』全6巻 / 『三原順傑作選 70s』 / 『三原順傑作選 80s』 / 『ルーとソロモン』全2巻 / 『IX Day』 / 『ムーン・ライティング』 / 『Sond』全4巻 / 『ピリーの森ジョディの樹』全2巻 / 『夢の中 悪夢の中』(2011年)</p>	<p>R006</p> <p>『IX Day』『ピリーの森ジョディの樹』などその他の単行本</p> <p>花とゆめコミックス『ラスト・ショー』(1978年, 白泉社) / 花とゆめコミックス『ロングアゴー』(1982年, 白泉社) / 花とゆめコミックス『夕暮れの旅』(1984年, 白泉社) / ジェッツコミックス『IX Day』(1985年, 白泉社) / エメラルドコミックス『夢の中 悪夢の中』(1992年, 主婦と生活社) / ミッシィコミックス『ピリーの森ジョディの樹』全2巻(1995年, 主婦と生活社)</p>	<p>R005</p> <p>『Sons』単行本</p> <p>ジェッツコミックス『Sons』全7巻(1987年~1990年白泉社)</p> <p>ジェッツコミックス『ムーン・ライティング』全2巻(1986年, 白泉社)</p>	<p>R004</p> <p>『ルーとソロモン』関連</p> <p>花とゆめコミックス『ルーとソロモン』全3巻(1979年~1981年, 白泉社)</p> <p>メルヘンの本『ルーとソロモン』(1978年, 白泉社)</p> <p>EP『ルーとソロモン』(1979年, 東芝EMI)</p>	<p>R003</p> <p>愛蔵版『はみだしっ子』 他『はみだしっ子』関連</p> <p>愛蔵版『はみだしっ子全集』全5巻(1992年~1993年, 白泉社) / 『はみだしっ子全コレクション』(1982年, 白泉社) / 『はみだしっ子語録』(1981年, 白泉社) / 『三原順のトランプランド』(1979年, 白泉社) / 『はみだしっ子絵はがき』(1979年, 白泉社)</p>	<p>R002</p> <p>『はみだしっ子』単行本 花とゆめコミックス全13巻</p> <p>花とゆめコミックス『はみだしっ子』全13巻(1976年~1981年, 白泉社)</p>	<p>R001</p> <p>三原順表紙担当雑誌等</p> <p>『花とゆめ』1975年1号, 1975年19号 1976年23号, 1976年12号, 1976年18号, 1977年2号, 1978年8号, 1979年12号, 1979年20号, 1981年8号</p> <p>『別冊花とゆめ』1977年夏の号, 1977年秋の号, 1978年冬の号, 1978年春の号, 1978年夏の号, 1981年夏の号</p>
<p>R016</p> <p>『はみだしっ子』特集</p> <p>【原画】オリジナル便箋用イラスト(1977年『花とゆめ』22号) / 【原画】口絵「ヒーローピンナップ」用イラスト(1978年『花とゆめ』23号) / 【原画】口絵「水の生物図鑑」用イラスト(1978年『花とゆめ』23号) / 【原画】ペンダント用下絵カット(1980年『花とゆめ』19号)</p>	<p>R015</p> <p>『はみだしっ子』特集</p> <p>【原画】はみだしっ子便箋表紙用イラスト(1976年『花とゆめ』秋の大増刊) / 【原画】全員プレゼント「ウィークリーファイル」用イラスト(1978年『花とゆめ』7号) / 【原画】『花とゆめ』表紙カット用(1980年『花とゆめ』3号)</p>	<p>R014</p> <p>『はみだしっ子』特集</p> <p>【原画】はみだしっ子シリーズ番外編「ほくは友達」本文(1976年『花とゆめ』12号) / 【原画】はみだしっ子ノート用イラスト(1977年『花とゆめ』春の増刊号) / 【原画】はみだしっ子ノート用イラスト(1977年『花とゆめ』春の増刊号)</p>	<p>R013</p> <p>『はみだしっ子』特集</p> <p>【原画】はみだしっ子 partⅢ「だから旗ふるの」扉(1975年『花とゆめ』19号)</p>	<p>R012</p> <p>『はみだしっ子』特集</p> <p>【原画】はみだしっ子 partⅡ「動物園のオリの中」本文(1975年『花とゆめ』13号)</p>	<p>R011</p> <p>『はみだしっ子』特集</p> <p>【原画】はみだしっ子 partⅡ「動物園のオリの中」本文(1975年『花とゆめ』13号)</p>	<p>R010</p> <p>『はみだしっ子』特集</p> <p>【原画】『はみだしっ子』花とゆめコミックス1巻表紙(1976年2月20日) / 【原画】『はみだしっ子』partⅠ「われらはみだしっ子」予告カット(1974年『花とゆめ』12月号) / 【原画】ホップ・ステップ・ジャンプ告知用カット(1987年『花とゆめ』9号)</p>	<p>R009</p> <p>『はみだしっ子』特集</p> <p>【原画】『はみだしっ子』第1回扉(1975年『花とゆめ』1月号) / 【原画】『花とゆめ』表紙用カット(グレアム・アンジー)(1977年『花とゆめ』18号) / 【原画】『花とゆめ』表紙用カット(サーニン・マックス)(1977年『花とゆめ』18号)</p>
<p>R024</p> <p>グレアム特集</p> <p>【原画】はみだしっ子 part XIX「つれて行って」本文(1980年『花とゆめ』13号)</p>	<p>R023</p> <p>グレアム特集</p> <p>【原画】はみだしっ子 part XIX「つれて行って」本文(1980年『花とゆめ』1号)</p>	<p>R022</p> <p>グレアム特集</p> <p>『はみだしっ子』花とゆめコミックス10巻扉用イラスト(1980年10月25日) / 【原画】『はみだしっ子』花とゆめコミックス11巻扉用イラスト(1981年1月25日) / 【原画】はみだしっ子 part XIX「つれて行って」第11話予告カット(1980年『花とゆめ』9号) / 【原画】はみだしっ子 part XIX「つれて行って」第8話予告カット(1980年『花とゆめ』6号)</p>	<p>R021</p> <p>グレアム特集</p> <p>【原画】はみだしっ子 part XIX「つれて行って」本文(1981年『花とゆめ』8号)</p>	<p>R020</p> <p>グレアム特集</p> <p>【原画】はみだしっ子 part XVI「もうなにも…」本文(1978年『花とゆめ』20号)</p>	<p>R019</p> <p>グレアム特集</p> <p>【原画】はみだしっ子 part X「山の上に吹く風は」第6回扉(1977年『花とゆめ』10号) / 【原画】はみだしっ子 part XIX「つれて行って」予告カット(1979年『花とゆめ』22号) / 【原画】はみだしっ子 part V「階段の向こうには…」予告カット(1976年『花とゆめ』6号) / 【原画】はみだしっ子 part XVI「もうなにも…」予告カット(1978年『花とゆめ』20号)</p>	<p>R018</p> <p>グレアム特集</p> <p>【原画】グレアムポスター(1977年『別冊花とゆめ』夏の号「グレアム大特集」) / 【原画】グレアム大特集扉(1977年『別冊花とゆめ』夏の号「グレアム大特集」)</p>	<p>R017</p> <p>グレアム特集</p> <p>【原画】はみだしっ子シリーズ番外編「G」扉(1976年『花とゆめ』22号)</p>
<p>R032</p> <p>三原順と音楽 3</p> <p>【原画】はみだしっ子シリーズ番外編「オクトパス・ガーデン」(『はみだしっ子全(オール)コレクション』, 1982年5月13日) / 【遺品】LP『1967年~1970年』(ザ・ビートルズ, 1973年)</p>	<p>R031</p> <p>三原順と音楽 2</p> <p>【原画】『はみだしっ子』花とゆめコミックス13巻表紙(1981年11月25日) / 【遺品】『ひとりぼっちの野原 / つれていって』(ザ・キャッツ, 1970年)</p>	<p>R030</p> <p>三原順と音楽 1</p> <p>【原画】はみだしっ子シリーズ番外編「G」本文(1976年『花とゆめ』22号) / 【遺品】LP『ヴァイオリン・ソナタ第9番』長調作品47「クロイツェル」 / ヴァイオリン・ソナタ第8番長調作品30の3(ベートーヴェン, ユーディ・メニューイン(ヴァイオリン), ヴィルヘルム・ケンプ(ピアノ), 1970年録音)</p>	<p>R029</p> <p>三原順の本棚 3</p> <p>【原画】はみだしっ子 part X「山の上に吹く風は」(1977年『花とゆめ』10号) / 【遺品】『星の王子さま』(サン・テグジュペリ / 著, 1962年, 岩波書店)</p>	<p>R028</p> <p>三原順の本棚 2</p> <p>【原画】はみだしっ子シリーズ番外編「もっと焚木を!」(1979年『花とゆめ』18号) / 【遺品】『M・R・ジェイムズ全集(上)』(M・R・ジェイムズ / 著, 紀田順一郎 / 訳, 1973年, 創土社)</p>	<p>R027</p> <p>三原順の本棚 1</p> <p>【原画】はみだしっ子 part XIV「バイバイ行進曲」(1978年『花とゆめ』13号) / 【遺品】『最後のコラム ガン病棟からの回想』(スチュアート・オルソップ / 著, 崎村久夫 / 訳, 1976年, 文藝春秋)</p>	<p>R026</p> <p>デビューまで</p> <p>【原画】「マッドベイビィ」扉(1973年『別冊マーガレット』9月号, 集英社) / 【遺品】『最後のコラム ガン病棟からの回想』(スチュアート・オルソップ / 著, 崎村久夫 / 訳, 1976年, 文藝春秋)</p>	<p>R025</p> <p>デビューまで</p> <p>『はみだしっ子』原型小説ノート11冊 / 『はみだしっ子』ポツネーム帳 / 亜土ちゃんミニノート 3冊 / 『はみだしっ子』ポツネーム帳 / 『ヨーロッパのブルー・コメッツ』(ブルー・コメッツ, 1968年)</p>

壁展示

- 【原画】 はみだしっ子マイウェイバック用イラスト (1980年『花とゆめ』8号)
- 【原画】 はみだしっ子 partXIX 「つれて行って」 第17回扉 (1980年『花とゆめ』21号)
- 【原画】 『はみだしっ子』LPレコードジャケット用イラスト (1983年2月21日)
- 【原画】 三原順の読切傑作集扉 (1978年『別冊花とゆめ』夏の号)
- 【原画】 『花とゆめ』表紙用イラスト (1976年『花とゆめ』12号)
- 【原画】 はみだしっ子 partXI 「奴らが消えた夜」 第5回予告カット (1977年『花とゆめ』19号)
- 【原画】 『別冊花とゆめ』秋の号 アンジー大特集扉 (1977年『別冊花とゆめ』秋の号)
- 【原画】 はみだしっ子 partVII 「夢をごらん」 本文 2枚 (1976年『花とゆめ』16号)
- 【原画】 アンジーポスター (1977年『別冊花とゆめ』秋の号)
- 【原画】 はみだしっ子カレンダー (1979年『花とゆめ』2号)
- 【原画】 はみだしっ子 partXVII 「クリスマスローズ咲く頃」 予告カット (1978年『別冊花とゆめ』冬の号)
- 【原画】 夏休みラブリーカード (1979年『花とゆめ』15号)
- 【原画】 「愛しのオフィーリア」 本文 2枚 (1977年『花とゆめ』24号)

テーブル型ケース展示

【遺品】 三原順の作品制作に使用された品々

台付ケース

※詳細は別紙をご覧ください。

映像展示

復活！HP「三原順に花束を」コーナー

トランク

スヌーピーのスーツケース

展示期間

期間：2月6日(金)～5月31日(日)

第一期：2月6日(金) - 3月2日(月) / 第二期：3月6日(金) - 4月6日(月)

第三期：4月10日(金) - 4月29日(水・祝) / 第四期：5月1日(金) - 5月31日(日)

休館日：毎週火・水・木曜(ただし祝日は開館)

※特別整理などで休館する場合があります。当館HP、もしくは開館日に電話にてご確認ください。

関連トークイベント

■今こそ読むべき、三原順 ～復活・三原順会議室～

講師：笹生那実、柴咲美衣、立野味、ごだま、雛霞 日時：3月21日(土・祝) 16:00-17:30
場所：米沢嘉博記念図書館 2階閲覧室 料金：無料 ※別途入館料300円がかかります。

■アンジーは私の理想の男性だった！ ～ヤマザキマリ「はみだしっ子」を語る～

講師：ヤマザキマリ(マンガ家) 日時：4月4日(土) 16:00-17:30
場所：明治大学 駿河台キャンパス 料金：無料

■三原順の音楽教室

講師：岡野美代子、立野味 日時：5月16日(土) 16:00-17:30
場所：米沢嘉博記念図書館 2階閲覧室 料金：無料 ※別途入館料300円がかかります。

※スケジュール・内容については変更の可能性があります。

米沢嘉博記念図書館

2014年度 第3回 企画コーナー展示品リスト

没後20年展 三原順復活祭

展示期間

2015年2月6日(金) - 5月31日(日)

第一期：2月6日(金) - 3月2日(月)

第二期：3月6日(金) - 4月6日(月)

第三期：4月10日(金) - 4月29日(水・祝)

第四期：5月1日(金) - 5月31日(日)

主催

明治大学 米沢嘉博記念図書館

企画・協力

鈴木俊裕、白泉社

主婦と生活社、藤本由香里(明治大学教授)

70年代から80年代にかけて、「はみだしっ子」を筆頭にその作品が熱狂的に支持された三原順。1995年3月20日、42歳で病没した直後はそれほど大きく取り上げられたわけではなく、出版界から忘れ去られるかにもえた。

しかしマンガ情報誌で何度も追悼特集が組まれ、ネット上で、同人誌で、ファンたちは熱く語り続けた。

それは三原作品の復刻を求める活動に結びつき、文庫本や復刊本、豪華本の出版など、多くの成果を生みだしてゆく。

三原順の思索の深さ、児童の虐待・原発問題など、今考えるべき様々な問題への尖鋭的な取り組み。没後20年20冊目の文庫が刊行されるこの期に、今こそ触れてほしいその作品像に迫る。

<p>R008</p> <p>イラスト集 レコード類等</p> <p>『かくれちゃったの だあれだ』(2000 年復刻版, 白泉社) / チェリッシュギャラリー『三原順 自選複製原画集』全 2 巻(1979 年~1984 年, 白泉社) / サウンド・コミック・シリーズ『はみだしっ子』(キャニオン・レコード, 1983 年) / チェリッシュブック『ハッシャバイ』(1977 年, 白泉社)</p>	<p>R007</p> <p>『はみだしっ子』文庫 新旧カバーバージョン</p> <p>【旧装丁】『はみだしっ子』全 6 巻(1996 年) / 『三原順傑作選 70s』(1998 年) / 『三原順傑作選 80s』(1998 年) / 『ルーとソロモン』全 2 巻(1998 年) / 『IX Day』(1999 年) / 『ムーン・ライティング』(1999 年) / 『Sand』全 4 巻(1999 年) / 『ピリーの森ジョディの樹』全 2 巻(2001 年) 【新装丁】『はみだしっ子』全 6 巻 / 『三原順傑作選 70s』 / 『三原順傑作選 80s』 / 『ルーとソロモン』全 2 巻 / 『IX Day』 / 『ムーン・ライティング』 / 『Sand』全 4 巻 / 『ピリーの森ジョディの樹』全 2 巻 / 『夢の中 悪夢の中』(2011 年)</p>	<p>R006</p> <p>『IX Day』『ピリーの森ジョディの樹』などその他の単行本</p> <p>花とゆめコミックス『ラスト・ショー』(1978 年, 白泉社) / 花とゆめコミックス『ロングアゴー』(1982 年, 白泉社) / 花とゆめコミックス『夕暮れの旅』(1984 年, 白泉社) / ジェッツコミックス『IX Day』(1985 年, 白泉社) / エメラルドコミックス『夢の中 悪夢の中』(1992 年, 主婦と生活社) / ミッシィコミックス『ピリーの森ジョディの樹』全 2 巻(1995 年, 主婦と生活社)</p>	<p>R005</p> <p>『Sons』単行本</p> <p>ジェッツコミックス『Sons』全 7 巻(1987 年~1990 年白泉社) ジェッツコミックス『ムーン・ライティング』全 2 巻(1986 年, 白泉社)</p>	<p>R004</p> <p>『ルーとソロモン』関連</p> <p>花とゆめコミックス『ルーとソロモン』全 3 巻(1979 年~1981 年, 白泉社) メルヘンの本『ルーとソロモン』(1978 年, 白泉社) EP『ルーとソロモン』(1979 年, 東芝 EMI)</p>	<p>R003</p> <p>愛蔵版『はみだしっ子』 他『はみだしっ子』関連</p> <p>愛蔵版『はみだしっ子全集』全 5 巻(1992 年~1993 年, 白泉社) / 『はみだしっ子全コレクション』(1982 年, 白泉社) / 『はみだしっ子語録』(1981 年, 白泉社) / 『三原順のトラブラン』(1979 年, 白泉社) / 『はみだしっ子絵はがき』(1979 年, 白泉社)</p>	<p>R002</p> <p>『はみだしっ子』単行本 花とゆめコミックス全 13 巻</p> <p>花とゆめコミックス『はみだしっ子』全 13 巻(1976 年~1981 年, 白泉社)</p>	<p>R001</p> <p>三原順表紙担当雑誌等</p> <p>『花とゆめ』1975 年 1 号, 1975 年 19 号 1976 年 23 号, 1976 年 12 号, 1976 年 18 号, 1977 年 2 号, 1978 年 8 号, 1979 年 12 号, 1979 年 20 号, 1981 年 8 号 『別冊花とゆめ』1977 年夏の号, 1977 年秋の号, 1978 年冬の号, 1978 年 春の号, 1978 年夏の号, 1981 年 夏の号</p>
<p>R016</p> <p>初期作品特集</p> <p>【原画】「ロングアゴー I」本文(1982 年『花とゆめ』13 号) / 【原画】「ロングアゴー II」予告カット(1982 年『花とゆめ』17 号) / 【原画】真夏の夜のアニマル楽団ポストカード(1982 年『花とゆめ』18 号)</p>	<p>R015</p> <p>初期作品特集</p> <p>【原画】花とゆめコミックス『ロングアゴー』カバーイラスト(1982 年 12 月 22 日刊) 【原画】「ロングアゴー II」予告カット(1982 年『花とゆめ』17 号)</p>	<p>R014</p> <p>初期作品特集</p> <p>【原画】「君の好きな帰り道」扉(1979 年『花とゆめ』2 号) / 【原画】「君の好きな帰り道」予告カット(1979 年『花とゆめ』1 号) / 【原画】「君の好きな帰り道」予告カット(1979 年『花とゆめ』1 号)</p>	<p>R013</p> <p>初期作品特集</p> <p>【原画】「赤い風船のささやき」本文(1974 年『別冊マーガレット』9 月号) / 【原画】「ラストショー」本文(1974 年『別冊マーガレット』12 月号) / 【原画】「涙のクラウン」本文(1975 年『花とゆめ』17 号) / 【原画】「涙のクラウン」予告カット(1975 年『花とゆめ』16 号)</p>	<p>R012</p> <p>初期作品特集</p> <p>【原画】「祈りの鐘が響くとも」本文(1975 年『花とゆめ』7 号) / 【原画】「祈りの鐘が響くとも」予告カット(1975 年『花とゆめ』6 号) / 【原画】「祈りの鐘が響くとも」予告カット(1975 年『花とゆめ』6 号)</p>	<p>R011</p> <p>初期作品特集</p> <p>【原画】「ようきなオバケ」本文(1974 年『花とゆめ』7 号) 【原画】「ようきなオバケ」扉(1974 年『花とゆめ』7 号) 【原画】「ようきなオバケ」本文(1974 年『花とゆめ』7 号) 【原画】「オロロンふたりワルのり」予告カット(1976 年『花とゆめ夏の大型増刊』口絵)</p>	<p>R010</p> <p>初期作品特集</p> <p>【原画】「マッドベイビィ」本文(1973 年『別冊マーガレット』9 月号, 集英社) / 【原画】「光と闇とをむすぶ糸」(1973 年『別冊マーガレット』8 月号) / 【原画】「遙かなる祈り」(1974 年『別冊マーガレット』5 月号)</p>	<p>R009</p> <p>初期作品特集</p> <p>【原画】「はろお・あいらぶ・ゆう」表紙(1977 年『花とゆめ』2 号)</p>
<p>R024</p> <p>アンジー特集</p> <p>【原画】はみだしっ子 part X IX 「つれて行って」本文(1981 年『花とゆめ』14 号)</p>	<p>R023</p> <p>アンジー特集</p> <p>【原画】はみだしっ子 part X VI 「もうなにも…」本文(1978 年『花とゆめ』21 号) / 【原画】はみだしっ子 part X VI 「もうなにも…」予告カット(1978 年『花とゆめ』19 号) / 【原画】はみだしっ子 part X IX 「つれて行って」本文(1981 年『花とゆめ』14 号)</p>	<p>R022</p> <p>アンジー特集</p> <p>【原画】はみだしっ子シリーズ番外編「音楽教室」扉(1978 年『花とゆめ』19 号)</p>	<p>R021</p> <p>アンジー特集</p> <p>【原画】『花とゆめ』表紙用(1978 年『花とゆめ』17 号) 【原画】「三原順のトラブラン」用カット 2 枚(1979 年 1 月)</p>	<p>R020</p> <p>アンジー特集</p> <p>【原画】はみだしっ子 part X 「山の上に吹く風は」第 4 回本文(1977 年『花とゆめ』8 号) 【原画】はみだしっ子 part X 「山の上に吹く風は」予告カット(1977 年『花とゆめ』5 号) 【原画】はみだしっ子 part X 「山の上に吹く風は」第 4 回予告カット(1977 年『花とゆめ』7 号)</p>	<p>R019</p> <p>アンジー特集</p> <p>【原画】アンジー大特集表紙(1977 年『別冊花とゆめ』秋の号) 【原画】はみだしっ子 part IX 「そして門の鍵」予告カット(1977 年『花とゆめ』1 号)</p>	<p>R018</p> <p>アンジー特集</p> <p>【原画】単行本花とゆめコミックス『はみだしっ子』2 巻表紙用(1976 年 9 月 20 日刊) 【原画】『ハッシャバイ』より 2 枚(1977 年 7 月)</p>	<p>R017</p> <p>アンジー特集</p> <p>【原画】はみだしっ子シリーズ番外編「A」扉(1976 年『花とゆめ』20 号)</p>
<p>R032</p> <p>三原順と音楽 3</p> <p>【原画】はみだしっ子 part X IX 「つれて行って」より(1980 年『花とゆめ』15 号) 【遺品】『いつか、どこかで』(ブライアン・フェリー, 1974 年)</p>	<p>R031</p> <p>三原順と音楽 2</p> <p>【原画】はみだしっ子 part X 「山の上に吹く風は」より(1977 年『花とゆめ』9 号) 【遺品】ザ・キャッツ『ひとりぼっちの野原, つれていって』(1971 年)</p>	<p>R030</p> <p>三原順と音楽 1</p> <p>【原画】「君の好きな帰り道」より(1979 年『花とゆめ』2 号) 【遺品】サマータイム(自作編集カセットテープ)</p>	<p>R029</p> <p>三原順の本棚 3</p> <p>【原画】はみだしっ子 part X IX 「つれて行って」第 27 回より(1981 年『花とゆめ』17 号) / 【遺品】『意識と社会ヨーロッパ社会思想 1890-1930』(スチュアート・ヒューズ, 生松敏三, 荒川幾男/訳, みすず書房, 1965 年)</p>	<p>R028</p> <p>三原順の本棚 2</p> <p>【原画】はみだしっ子 part X VII 「クリスマスローズ咲く頃」より(1979 年『花とゆめ』8 号) 【遺品】『約束の地』(ロバート・B・パーカー, 菊池光/訳, 早川書房, 1978 年)</p>	<p>R027</p> <p>三原順の本棚 1</p> <p>【原画】はみだしっ子 part X III 「窓のおく」より(1978 年『花とゆめ』9 号) 【遺品】『まどのむこう』(チャールズ・キーピング, いのくまようこ/訳, らくだ出版/1977 年)</p>	<p>R026</p> <p>デビューまで</p> <p>【原画】「マッドベイビィ」扉(1973 年『別冊マーガレット』9 月号, 集英社) 【遺品】『まどのむこう』(チャールズ・キーピング, いのくまようこ/訳, らくだ出版/1977 年) 『別冊マーガレット』(1973 年 3 月号, 集英社)</p>	<p>R025</p> <p>デビューまで</p> <p>「はみだしっ子」原型小説ノート 11 冊 / 「はみだしっ子」ポツネーム帳 / 垂土ちゃんミニノート 3 冊 / 「はみだしっ子」ポツネーム帳 / 『ヨーロッパのブルー・コメッツ』(ブルー・コメッツ, 1968 年)</p>

壁展示

- 【原画】『花とゆめ』表紙用イラスト(白泉社, 1980年6号)
- 【原画】『ハッシャバイ』イラスト(白泉社, 1977年7月25日)
- 【原画】はみだしっ子 partⅫ「裏切者」扉(白泉社, 1978年『花とゆめ』3号)
- 【原画】『花とゆめ』口絵ポスター(白泉社, 1977年2号)
- 【原画】「ルーとソロモン」メルヘンの本カバー用(白泉社, 1978年1月20日)
- 【原画】「ルーとソロモン」口絵ピンナップ用(白泉社, 1977年『LaLa』12月号)
- 【原画】「わ…わん！」予告カット(白泉社, 1979年『LaLa』7月号)
- 【原画】「BOOO！」予告カット(白泉社, 1980年『LaLa』3月号)
- 【原画】「今日は日曜 お買い物」(白泉社, 1979年『LaLa』2月号)
- 【原画】イラストコラム(白泉社, 1978年『LaLa』8月号)
- 【原画】マンガ家特別予告ページ(白泉社, 1977年『LaLa』7月号)
- 【原画】『ハッシャバイ』イラスト(白泉社, 1977年7月25日)
- 【原画】はみだしっ子 partⅩⅤ「カッコウの鳴く森」扉(白泉社, 1978年『花とゆめ』17号)
- 【原画】はみだしっ子 partⅩⅤ「カッコウの鳴く森」本文(白泉社, 1978年『花とゆめ』17号) 2枚
- 【原画】「ムーン・ライティング」予告カット(白泉社, 1984年『花とゆめ』4号)
- 【原画】「Sons」予告カット(白泉社, 1987年『花ゆめEPO』11月号)
- 【原画】「Sons」カセットレーベル用(白泉社, 1986年『花とゆめ』10号)
- 【原画】「Sons」本文 1990年(白泉社, 『花ゆめEPO』5月号) 2枚

テーブル型ケース展示

【遺品】三原順の作品制作に使用された品々

台付ケース

※別紙をご覧ください。

映像展示

復活！HP「三原順に花束を」コーナー

トランク

スヌーピーのスーツケース

展示期間

期間：2月6日(金)～5月31日(日)
第一期：2月6日(金) - 3月2日(月) / 第二期：3月6日(金) - 4月6日(月)
第三期：4月10日(金) - 4月29日(水・祝) / 第四期：5月1日(金) - 5月31日(日)
休館日：毎週火・水・木曜(ただし祝日は開館)
※特別整理などで休館する場合があります。当館HP、もしくは開館日に電話にてご確認ください。

関連トークイベント

■三原順の音楽教室

講師：岡野美代子、立野味
日時：5月16日(土) 16:00-17:30
場所：米沢嘉博記念図書館 2階閲覧室 料金：無料 ※別途入館料300円がかかります。

※スケジュール・内容については変更の可能性があります。

米沢嘉博記念図書館

2014年度 第3回 企画コーナー展示品リスト

没後20年展 三原順復活祭

展示期間

2015年2月6日(金) - 5月31日(日)

第一期：2月6日(金) - 3月2日(月)
第二期：3月6日(金) - 4月6日(月)
第三期：4月10日(金) - 4月29日(水・祝)
第四期：5月1日(金) - 5月31日(日)

主催

明治大学 米沢嘉博記念図書館

企画・協力

鈴木俊裕、白泉社
主婦と生活社、藤本由香里(明治大学教授)

70年代から80年代にかけて、「はみだしっ子」を筆頭にその作品が熱狂的に支持された三原順。1995年3月20日、42歳で病没した直後はそれほど大きく取り上げられたわけではなく、出版界から忘れ去られるかみえた。

しかしマンガ情報誌で何度も追悼特集が組まれ、ネット上で、同人誌で、ファンたちは熱く語り続けた。

それは三原作品の復刻を求める活動に結びつき、文庫本や復刊本、豪華本の出版など、多くの成果を生みだしてゆく。

三原順の思索の深さ、児童の虐待・原発問題など、今考えるべき様々な問題への鋭的な取り組み。没後20年20冊目の文庫が刊行されるこの期に、今こそ触れてほしいその作品像に迫る。

<p>R008</p> <p>イラスト集 レコード類等</p> <p>『かくれちゃったの だあれだ』(2000年復刻版 白泉社) / チェリッシュギャラリー『三原順 自選複製原画集』全2巻(1979年~1984年, 白泉社) / サウンド・コミック・シリーズ『はみだしっ子』(キャニオン・レコード, 1983年) / チェリッシュブック『ハッシャバイ』(1977年, 白泉社)</p>	<p>R007</p> <p>『はみだしっ子』文庫 新旧カバーバージョン</p> <p>【旧装丁】『はみだしっ子』全6巻(1996年) / 『三原順傑作選 70s』(1998年) / 『三原順傑作選 80s』(1998年) / 『ルーとソロモン』全2巻(1998年) / 『IX Day』(1999年) / 『ムーン・ライティング』(1999年) / 『Sond』全4巻(1999年) / 『ピリーの森ジョディの樹』全2巻(2001年) 【新装丁】『はみだしっ子』全6巻 / 『三原順傑作選 70s』 / 『三原順傑作選 80s』 / 『ルーとソロモン』全2巻 / 『IX Day』 / 『ムーン・ライティング』 / 『Sond』全4巻 / 『ピリーの森ジョディの樹』全2巻 / 『夢の中 悪夢の中』(2011年) / 『LAST PEACE』(2015年)</p>	<p>R006</p> <p>『IX Day』『ピリーの森ジョディの樹』などその他の単行本</p> <p>花とゆめコミックス『ラスト・ショー』(1978年, 白泉社) / 花とゆめコミックス『ロングアゴー』(1982年, 白泉社) / 花とゆめコミックス『夕暮れの旅』(1984年, 白泉社) / ジェッツコミックス『IX Day』(1985年, 白泉社) / エメラルドコミックス『夢の中 悪夢の中』(1992年, 主婦と生活社) / ミッシィコミックス『ピリーの森ジョディの樹』全2巻(1995年, 主婦と生活社)</p>	<p>R005</p> <p>『Sons』単行本</p> <p>ジェッツコミックス『Sons』全7巻(1987年~1990年白泉社) ジェッツコミックス『ムーン・ライティング』全2巻(1986年, 白泉社)</p>	<p>R004</p> <p>『ルーとソロモン』関連</p> <p>花とゆめコミックス『ルーとソロモン』全3巻(1979年~1981年, 白泉社) メルヘンの本『ルーとソロモン』(1978年, 白泉社) EP『ルーとソロモン』(1979年, 東芝EMI)</p>	<p>R003</p> <p>愛蔵版『はみだしっ子』 他『はみだしっ子』関連</p> <p>愛蔵版『はみだしっ子全集』全5巻(1992年~1993年, 白泉社) / 『はみだしっ子全コレクション』(1982年, 白泉社) / 『はみだしっ子語録』(1981年, 白泉社) / 『三原順のトラブラン』(1979年, 白泉社) / 『はみだしっ子絵はがき』(1979年, 白泉社)</p>	<p>R002</p> <p>『はみだしっ子』単行本 花とゆめコミックス全13巻</p> <p>花とゆめコミックス『はみだしっ子』全13巻(1976年~1981年, 白泉社)</p>	<p>R001</p> <p>三原順表紙担当雑誌等</p> <p>『花とゆめ』1975年1号, 1975年19号, 1976年23号, 1976年12号, 1976年18号, 1977年2号, 1978年8号, 1979年12号, 1979年20号, 1981年8号 『別冊花とゆめ』1977年夏の号, 1977年秋の号, 1978年冬の号, 1978年春の号, 1978年夏の号, 1981年夏の号</p>
<p>R016</p> <p>「Sons」</p> <p>【原画】「Sons」本文(1988年『花ゆめEPO』9月号) 【原画】予告カット(1987年『花とゆめ』12号)</p>	<p>R015</p> <p>「Sons」</p> <p>【原画】「Sons」扉(1988年『花ゆめEPO』7月号) / 【原画】「Sons」お年賀カードプレゼント用イラスト(1986年『花とゆめ』23号) / 【原画】「ムーン・ライティングシリーズ」「ウィリアムの伝説」予告カット(1986年『花とゆめ』3号) / 【原画】「Sons」予告カット(1988年『花とゆめ』4号)</p>	<p>R014</p> <p>「Sons」</p> <p>【原画】『Sons』5巻カバーイラスト(1989年7月) / 【原画】『Sons』6巻カバーイラスト(1990年8月29日) / 【書籍】ジェッツコミックス『Sons』5巻, 6巻(白泉社, 1989年7月, 1990年8月)</p>	<p>R013</p> <p>「ムーン・ライティング シリーズ」</p> <p>【原画】「ムーン・ライティング」本文(1984年『花とゆめ』5号) / 【原画】カセットレーベル用イラスト(1985年『花ゆめEPO』2月号) / 【原画】「お月様の贈り物」予告カット(1984年『花とゆめ』18号) / 【原画】予告カット(1984年『花とゆめ』6号) / 【原画】テレフォンカード用(1987年『花ゆめEPO』3月号)</p>	<p>R012</p> <p>「ルーとソロモン」</p> <p>【原画】カレンダー用イラスト(1980年『LaLa』2月号) / 【原画】「屋根の上の犬」予告カット(1979年『LaLa』10月号) / 【原画】「トラブランの旅」用イラスト(1979年1月) / 【原画】「わんサイドゲーム」予告カット(1980年『LaLa』6月号) / 【原画】「屋根の上の犬」予告カット(1979年『LaLa』10月号) / 【原画】「あなたに捧げる花言葉」予告カット(1979年『LaLa』11月号)</p>	<p>R011</p> <p>「ルーとソロモン」</p> <p>【原画】「あなたに捧げる花言葉」本文(1979年『LaLa』11月号) / 【未使用原画】ルーとソロモンクリアバッグプレゼント用イラスト(未発表) / 【原画】「三原順のトラブラン」用カット(1979年1月20日) / 【原画】「わんサイドゲーム」予告カット(1980年『LaLa』5月号) / 【原画】「わたしの好みはライトグリーン」予告カット(1979年『LaLa』11月号)</p>	<p>R010</p> <p>「ルーとソロモン」</p> <p>【原画】「その日まで」本文(1976年『LaLa』9月号) / 【原画】花とゆめコミックス『ルーとソロモン』1巻扉用(1979年7月) / 【原画】花とゆめコミックス『ルーとソロモン』2巻扉用【原画】(1980年5月)</p>	<p>R009</p> <p>「ルーとソロモン」</p> <p>【原画】ポスター用イラスト(1979年『LaLa デラックス春の号』5月増刊ソロモン総集編) / 【原画】ソロモン特集扉(1979年『LaLa デラックス春の号』5月増刊ソロモン総集編) / 【原画】ポスター用イラスト(1979年『LaLa デラックス春の号』5月増刊ソロモン総集編)</p>
<p>R024</p> <p>サーニン特集</p> <p>【原画】はみだしっ子 part XVI「もうなにも…」本文(1978年『花とゆめ』21号)</p>	<p>R023</p> <p>サーニン特集</p> <p>【原画】「別冊花とゆめ」表紙(1978年『別冊花とゆめ』冬の号) / 【原画】はみだしっ子カレンダー(1979年『花とゆめ』2号) / 【原画】「三原順のトラブラン」用カット2枚(1979年1月)</p>	<p>R022</p> <p>サーニン特集</p> <p>【原画】はみだしっ子 part X II「裏切者」本文(1978年『花とゆめ』5号)</p>	<p>R021</p> <p>サーニン特集</p> <p>【原画】はみだしっ子 part X II「裏切者」本文(1978年『花とゆめ』2号)</p>	<p>R020</p> <p>サーニン特集</p> <p>【原画】花とゆめコミックス『はみだしっ子6 裏切者』カバーイラスト(1978年4月) / 【原画】はみだしっ子 part XV「カッコーの鳴く森」予告カット(1978年『花とゆめ』16号) / 【原画】はみだしっ子 part XII「裏切者」予告カット(1978年『花とゆめ』1号) / 【原画】はみだしっ子番外編「ボクと友達」予告カット(1976年『花とゆめ』14号) / 【原画】はみだしっ子番外編「ボクと友達」予告カット(1976年『花とゆめ』13号)</p>	<p>R019</p> <p>サーニン特集</p> <p>【原画】はみだしっ子 part VII「夢をごらん」前編・扉(1976年『花とゆめ』15号) / 【原画】はみだしっ子番外編「眠れぬ夜」予告カット(1976年『花とゆめ』8号)</p>	<p>R018</p> <p>サーニン特集</p> <p>【原画】はみだしっ子 part X「山の上に吹く風は…」予告カット(1977年『花とゆめ』4号) / 【原画】花とゆめコミックス『われらははみだしっ子』カバー折り返しイラスト(1976年2月) / 【原画】はみだしっ子 part IV「雪だるまに雪はふる」予告カット2枚(1975年『花とゆめ』22号)</p>	<p>R017</p> <p>サーニン特集</p> <p>【原画】はみだしっ子 番外編「S」扉(1976年『花とゆめ』24号)</p>
<p>R032</p> <p>三原順と音楽 3</p> <p>【原画】はみだしっ子 Part IV「雪だるまに雪はふる」本文(1975年『花とゆめ』23号) / 【遺品】『JOY TO THE WORLD』(スリー・ドッグ・ナイト, 1974年)</p>	<p>R031</p> <p>三原順と音楽 2</p> <p>【原画】「Sons」第22話本文(1990年『花ゆめEPO』3月号) 【遺品】レコード(『ひとりぼっちの野原／つれていって』, ザ・キャッツ, 1971年)</p>	<p>R030</p> <p>三原順と音楽 1</p> <p>【遺品】テープ(ピーター・ポール&マリー『全曲集』) 【原画】ルーとソロモン「レモン・トゥー」本文(1981年『LaLa』2月号)</p>	<p>R029</p> <p>三原順と書物 3</p> <p>【原画】「Sons」第2話本文(1986年『花ゆめEPO』6月号) / 【遺品】『シートン動物記1, 2』(アーネスト・T・シートン, 内山賢次/訳, 新潮社, 1956年) / 【遺品】オオカミの手</p>	<p>R028</p> <p>三原順と書物 2</p> <p>【原画】「Sons」第24話本文(1990年『花ゆめEPO』7月号) 【遺品】『カエルのバレエ入門』(ドナルド・エリオット/文, クリントン・アロウツ/絵, 芦原英了/訳, 薄井憲二/訳, 岩波書店, 1983年)</p>	<p>R027</p> <p>三原順と書物 1</p> <p>【原画】はみだしっ子 Part XV「カッコーの鳴く森」よ(1978年『花とゆめ』17号) 【書籍】『自閉症 うつろな岩』(ブルーノ・ベッテルハイム/黒丸正二郎訳/みすず書房/1973年)</p>	<p>R026</p> <p>デビューまで</p> <p>【原画】「マッドベイビィ」扉(1973年『別冊マーガレット』9月号, 集英社) iPad「デビューまで」『別冊マーガレット』(1973年3月号, 集英社)</p>	<p>R025</p> <p>デビューまで</p> <p>「はみだしっ子」原型小説ノート11冊 / 「はみだしっ子」ポツネーム帳 / 垂土ちゃんミニノート 3冊 / 「はみだしっ子」ポツネーム帳 / 『ヨーロッパのブルー・コメッツ』(ブルー・コメッツ, 1968年)</p>

壁展示

- 【原画】はみだしっ子カレンダー（1979年『花とゆめ』2号）
- 【原画】『1982年はみだしっ子カレンダー』（1981年11月10日発行）
- 【原画】はみだしっ子 partXVII 「クリスマスローズ咲く頃」扉（1979年『花とゆめ』8号）
- 【原画】エメラルドコミックス『夢の中 悪夢の中』カバー（1992年5月15日）
- 【原画】「ミッドナイトブルー」口絵ピンナップ（1983年『LaLa』11月号）
- 【原画】はみだしっ子 partIX 「そして門の鍵」予告カット（1977年『花とゆめ』1号）
- 【原画】はみだしっ子 partX I 「奴らが消えた夜」本文（1977年『花とゆめ』16号）
- 【原画】はみだしっ子 partX I 「奴らが消えた夜」本文（1977年『花とゆめ』17号）
- 【原画】マックスポスター（1978年『別冊花とゆめ』春の号）
- 【原画】はみだしっ子 partX 「山の上に吹く風は」本文（1977年『花とゆめ』10号）
- 【原画】「夢の中 悪夢の中」予告カット（1991年『BONTON』11月号）
- 【原画】「ビリーの森ジョディの樹」本文（1993年『別冊花とゆめ』10月号）
- 【原画】「ビリーの森ジョディの樹」本文（1993年『別冊花とゆめ』10月号）
- 【ネーム】番外編「ビリー」本文（1995年9月10日）
- 【原画】番外編「ビリー」本文（1995年9月10日）

テーブル型ケース展示

【遺品】三原順の作品制作に使用された品々

台付ケース

※別紙をご覧ください。

映像展示

復活！HP「三原順に花束を」コーナー

トランク

スヌーピーのスーツケース

展示期間

期間：2月6日（金）～6月14日（日） ※好評につき展示期間を延長いたします

第一期：2月6日（金）－3月2日（月） / 第二期：3月6日（金）－4月6日（月）
第三期：4月10日（金）－4月29日（水・祝） / 第四期：5月1日（金）－5月31日（日）
第五期：6月4日（金）－6月14日（日）

休館日：毎週火・水・木曜（ただし祝日は開館）

※特別整理などで休館する場合があります。当館HP、もしくは開館日に電話にてご確認ください。

関連トークイベント

■三原順の音楽教室

講師：岡野美代子、立野味 日時：5月16日（土）16:00－17:30
場所：米沢嘉博記念図書館 2階閲覧室 料金：無料 ※別途入館料300円がかかります。

※スケジュール・内容については変更の可能性があります。

米沢嘉博記念図書館

2014年度 第3回 企画コーナー展示品リスト

没後20年展 三原順復活祭

展示期間

2015年2月6日（金）－6月14日（日）

第一期：2月6日（金）－3月2日（月）

第二期：3月6日（金）－4月6日（月）

第三期：4月10日（金）－4月29日（水・祝）

第四期：5月1日（金）－5月31日（日）

第五期：6月4日（金）－6月14日（日）

主催

明治大学 米沢嘉博記念図書館

企画・協力

鈴木俊裕、白泉社

主婦と生活社、藤本由香里（明治大学教授）

70年代から80年代にかけて、「はみだしっ子」を筆頭にその作品が熱狂的に支持された三原順。1995年3月20日、42歳で病没した直後はそれほど大きく取り上げられたわけではなく、出版界から忘れ去られるかにみえた。

しかしマンガ情報誌で何度も追悼特集が組まれ、ネット上で、同人誌で、ファンたちは熱く語り続けた。

それは三原作品の復刻を求める活動に結びつき、文庫本や復刊本、豪華本の出版など、多くの成果を生みだしてゆく。

三原順の思索の深さ、児童の虐待・原発問題など、今考えるべき様々な問題への鋭い取り組み。没後20年20冊目の文庫が刊行されるこの期に、今こそ触れてほしいその作品像に迫る。

<p>R008</p> <p>イラスト集 レコード類等</p> <p>『かくれちゃったの だあれだ』(2000年復刻版, 白泉社) / チェリッシュギャラリー『三原順 自選複製原画集』全2巻(1979年~1984年, 白泉社) / サウンド・コミック・シリーズ『はみだしっ子』(キャニオン・レコード, 1983年) / チェリッシュブック『ハッシャバイ』(1977年, 白泉社)</p>	<p>R007</p> <p>『はみだしっ子』文庫 新旧カバーバージョン</p> <p>【旧装丁】『はみだしっ子』全6巻(1996年) / 『三原順傑作選 70s』(1998年) / 『三原順傑作選 80s』(1998年) / 『ルーとソロモン』全2巻(1998年) / 『IX Day』(1999年) / 『ムーン・ライティング』(1999年) / 『Sond』全4巻(1999年) / 『ピリーの森ジョディの樹』全2巻(2001年)</p> <p>【新装丁】『はみだしっ子』全6巻 / 『三原順傑作選 70s』 / 『三原順傑作選 80s』 / 『ルーとソロモン』全2巻 / 『IX Day』 / 『ムーン・ライティング』 / 『Sond』全4巻 / 『ピリーの森ジョディの樹』全2巻 / 『夢の中 悪夢の中』(2011年) / 『LAST PEACE』(2015年)</p>	<p>R006</p> <p>『IX Day』『ピリーの森ジョディの樹』などその他の単行本</p> <p>花とゆめコミックス『ラスト・ショー』(1978年, 白泉社) / 花とゆめコミックス『ロングアゴー』(1982年, 白泉社) / 花とゆめコミックス『夕暮れの旅』(1984年, 白泉社) / ジェッツコミックス『IX Day』(1985年, 白泉社) / エメラルドコミックス『夢の中 悪夢の中』(1992年, 主婦と生活社) / ミッシェコミックス『ピリーの森ジョディの樹』全2巻(1995年, 主婦と生活社)</p>	<p>R005</p> <p>『Sons』単行本</p> <p>ジェッツコミックス『Sons』全7巻(1987年~1990年白泉社)</p> <p>ジェッツコミックス『ムーン・ライティング』全2巻(1986年, 白泉社)</p>	<p>R004</p> <p>『ルーとソロモン』関連</p> <p>花とゆめコミックス『ルーとソロモン』全3巻(1979年~1981年, 白泉社)</p> <p>メルヘンの本『ルーとソロモン』(1978年, 白泉社)</p> <p>EP『ルーとソロモン』(1979年, 東芝 EMI)</p>	<p>R003</p> <p>愛蔵版『はみだしっ子』 他『はみだしっ子』関連</p> <p>愛蔵版『はみだしっ子全集』全5巻(1992年~1993年, 白泉社) / 『はみだしっ子全コレクション』(1982年, 白泉社) / 『はみだしっ子語録』(1981年, 白泉社) / 『三原順のトランプランド』(1979年, 白泉社) / 『はみだしっ子絵はがき』(1979年, 白泉社)</p>	<p>R002</p> <p>『はみだしっ子』単行本 花とゆめコミックス全13巻</p> <p>花とゆめコミックス『はみだしっ子』全13巻(1976年~1981年, 白泉社)</p>	<p>R001</p> <p>三原順表紙担当雑誌等</p> <p>『花とゆめ』1975年1号, 1975年19号, 1976年23号, 1976年12号, 1976年18号, 1977年2号, 1978年8号, 1979年12号, 1979年20号, 1981年8号</p> <p>『別冊花とゆめ』1977年夏の号, 1977年秋の号, 1978年冬の号, 1978年春の号, 1978年夏の号, 1981年夏の号</p>
<p>R016</p> <p>「ピリーの森ジョディの樹」 特集</p> <p>【原画】「ピリーの森ジョディの樹」本文(1993年『別冊花とゆめ』12月号) / 【原画】「ピリーの森ジョディの樹」本文(1993年『別冊花とゆめ』12月号) / 【原画】「ピリーの森ジョディの樹」本文(ミッシェコミックスDX『ピリーの森ジョディの樹』2巻, 1995年9月10日) / 【原画】「ピリーの森ジョディの樹」予告カット(1993年『花とゆめ』19号)</p>	<p>R015</p> <p>「ピリーの森ジョディの樹」 特集</p> <p>【原画】「ピリーの森ジョディの樹」本文(1993年『別冊花とゆめ』12月号) / 【原画】「ピリーの森ジョディの樹」本文(1993年『別冊花とゆめ』10月号) / 【原画】「ピリーの森ジョディの樹」本文(ミッシェコミックスDX『ピリーの森ジョディの樹』2巻, 1995年9月10日) / 【原画】「ピリーの森ジョディの樹」予告カット(1993年『花とゆめ』19号)</p>	<p>R014</p> <p>「私のアベルへ」『帽子物語』 特集</p> <p>【原画】「私のアベルへ」本文(1992年『セリエミステリー』9月号) / 【原画】「帽子物語」本文(1992年『花曜日』2月10日冬の号) / 【原画】「私のアベルへ」予告カット(1992年『セリエミステリー』8月号) / 【原画】「帽子物語」予告カット(1992年『Lala』2月号/1992年『セリエミステリー』2月号) / 【原画】「私のアベルへ」予告カット(1992年『セリエミステリー』8月号)</p>	<p>R013</p> <p>「夢の中 悪夢の中」特集</p> <p>【原画】「夢の中 悪夢の中」本文(1992年『BONTON』1月号) / 【原画】「夢の中 悪夢の中」本文(1991年『BONTON』12月号) / 【原画】「夢の中 悪夢の中」本文(1992年『BONTON』1月号)</p>	<p>R012</p> <p>「ベンジャミンを追って」 「彼女に翼を」特集</p> <p>【原画】「ベンジャミンを追って」本文(1991年『ROMANTICBONTON』5月3日号) / 【原画】「ベンジャミンを追って」予告カット(1991年『BONTON』5月号) / 【原画】「彼女に翼を」扉(1991年『花曜日』8月10日夏の号) / 【原画】「彼女に翼を」予告カット(1991年『セリエミステリー』8月号)</p>	<p>R011</p> <p>「セルフ・マードーシリーズ」 特集</p> <p>【原画】「夕暮れの旅」本文(1983年『花とゆめ』23号) / 【原画】「夕暮れの旅」本文(1983年『花とゆめ』23号) / 【原画】「夕暮れの旅」本文(1983年『花とゆめ』23号) / 【原画】「あなたのための子守唄」予告カット(1983年『Lala』3月号)</p>	<p>R010</p> <p>『IX Day』特集</p> <p>【原画】『IX Day』本文(1985年5月27日) / 【原画】『IX Day』本文(1985年5月27日) / 【原画】『IX Day』本文(1985年5月27日)</p>	<p>R009</p> <p>『Die Energie 5.2』11.8』 特集</p> <p>【原画】『Die Energie 5.2』11.8』本文(1982年『Lala』6月号) / 【原画】『Die Energie 5.2』11.8』扉(1982年『Lala』7月号) / 【原画】『Die Energie 5.2』11.8』予告カット(1982年『Lala』6月号) / 【原画】『Die Energie 5.2』11.8』予告カット(1982年『Lala』5月号) / 【原画】『Die Energie 5.2』11.8』予告カット(1982年『Lala』7月号)</p>
<p>R024</p> <p>マックス特集</p> <p>【原画】はみだしっ子 part X IX 「つれて行って」本文(1980年『花とゆめ』10号) / 【原画】はみだしっ子 part X IX 「つれて行って」予告カット(1980年『花とゆめ』20号)</p>	<p>R023</p> <p>マックス特集</p> <p>【原画】はみだしっ子 part X VIII 「ブルーカラー」本文(1979年『花とゆめ』14号)</p>	<p>R022</p> <p>マックス特集</p> <p>【原画】はみだしっ子 part X III 「窓のとおり」前編扉(1978年『花とゆめ』8号) / 【原画】はみだしっ子 part X I 「奴らが消えた夜」予告カット(1977年『花とゆめ』15号) / 【原画】はみだしっ子シリーズ番外編「長い夜」扉(1977年『花とゆめ』14号)</p>	<p>R021</p> <p>マックス特集</p> <p>【原画】『ハッシャバイ』箱カバーイラスト(1977年7月25日) / 【原画】『ハッシャバイ』イラスト(1977年7月25日) / 【原画】『ハッシャバイ』イラスト(1977年7月25日) 2枚</p>	<p>R020</p> <p>マックス特集</p> <p>0【原画】はみだしっ子 part X 「山の上に吹く風は」第3回本文(1977年『花とゆめ』8号)</p>	<p>R019</p> <p>マックス特集</p> <p>【原画】はみだしっ子 part X 「山の上に吹く風は」第3回扉(1977年『花とゆめ』7号) / 【原画】はみだしっ子 part X III 「窓のとおり」予告カット(1978年『花とゆめ』7号) / 【原画】はみだしっ子 part VI 「レッツ・ダンス・オン！」予告カット(1976年『花とゆめ』12号) / 【原画】はみだしっ子番外編「ボクも友達」予告カット(1976年『花とゆめ』17号) 2枚</p>	<p>R018</p> <p>マックス特集</p> <p>【原画】はみだしっ子 part VI 「レッツ・ダンス・オン！」扉(1976年『花とゆめ』13号) / 【原画】はみだしっ子カレンダー(1979年『花とゆめ』2号) / 【原画】はみだしっ子 part VII 「夢をごらん」予告カット(1976年『花とゆめ』15号) / 【原画】はみだしっ子 part II 「動物園のオリの中」予告カット(1975年『花とゆめ』12号) / 【原画】花とゆめコミックス『はみだしっ子』2巻総扉(1976年9月20日)</p>	<p>R017</p> <p>マックス特集</p> <p>【原画】はみだしっ子シリーズ番外編「M」扉(1976年『花とゆめ』23号)</p>
<p>R032</p> <p>三原順と音楽 3</p> <p>【原画】はみだしっ子 part X 「山の上に吹く風は」本文(1977年『花とゆめ』7号) / 【遺品】『天使の歌声/エンジェル・クレア』(アート・ガーファンクル, 1973年)</p>	<p>R031</p> <p>三原順と音楽 2</p> <p>【原画】「ラスト・ショー」本文(1974年『別冊マーガレット』12月号) / 【遺品】『ひとりぼっちの野原/つれていって』(ザ・キャッツ, 1971年)</p>	<p>R030</p> <p>三原順と音楽 1</p> <p>【原画】はみだしっ子 part V 「階段のむこうには…」本文(1976年『花とゆめ』8号) / 【遺品】『IV』(レッド・ツェッペリン, 1971年)</p>	<p>R029</p> <p>三原順と書物 3</p> <p>【原画】はみだしっ子 part X IX 「つれて行って」本文(1980年『花とゆめ』1号) / 【遺品】『殺人百科 陰の隣人としての犯罪者たち』(佐木隆三, 徳間書店, 1977年)</p>	<p>R028</p> <p>三原順と書物 2</p> <p>【原画】「帽子物語」扉(1992年『花曜日』2月10日冬の号) / 【遺品】『イェベは帽子が大好き』(石亀泰郎/写真, 文化出版局編集部/著, 1978年)</p>	<p>R027</p> <p>三原順と書物 1</p> <p>【原画】はみだしっ子 part X I 「奴らが消えた夜」本文(1977年『花とゆめ』21号) / 【遺品】『The Dangerous Journey』(Tove Jansson/著, Ernest Benn/刊行, 1978年)</p>	<p>R026</p> <p>デビューまで</p> <p>【原画】「マッドベイビィ」扉(1973年『別冊マーガレット』9月号, 集英社) / iPad 「デビューまで」『別冊マーガレット』(1973年3月号, 集英社)</p>	<p>R025</p> <p>デビューまで</p> <p>「はみだしっ子」原型小説ノート11冊 / 「はみだしっ子」ポツネーム帳 / 垂土ちゃんミニノート 3冊 / 「はみだしっ子」ポツネーム帳 / 『ヨーロッパのブルー・コメッツ』(ブルー・コメッツ, 1968年)</p>

壁展示

- 【原画】はみだしっ子カレンダー（1979年『花とゆめ』2号）
- 【原画】『1982年はみだしっ子カレンダー』（1981年11月10日発行）
- 【原画】はみだしっ子 partXVII 「クリスマスローズ咲く頃」扉（1979年『花とゆめ』8号）
- 【原画】エメラルドコミックス『夢の中 悪夢の中』カバー（1992年5月15日）
- 【原画】「ミッドナイトブルー」口絵ピンナップ（1983年『LaLa』11月号）
- 【原画】はみだしっ子 partIX 「そして門の鍵」予告カット（1977年『花とゆめ』1号）
- 【原画】はみだしっ子 partX I 「奴らが消えた夜」本文（1977年『花とゆめ』16号）
- 【原画】はみだしっ子 partX I 「奴らが消えた夜」本文（1977年『花とゆめ』17号）
- 【原画】マックスポスター（1978年『別冊花とゆめ』春の号）
- 【原画】はみだしっ子 partX 「山の上に吹く風は」本文（1977年『花とゆめ』10号）
- 【原画】「夢の中 悪夢の中」予告カット（1991年『BONTON』11月号）
- 【原画】「ビリーの森ジョディの樹」本文（1993年『別冊花とゆめ』10月号）
- 【原画】「ビリーの森ジョディの樹」本文（1993年『別冊花とゆめ』10月号）
- 【ネーム】番外編「ビリー」本文（1995年9月10日）
- 【原画】番外編「ビリー」本文（1995年9月10日）

テーブル型ケース展示

【遺品】三原順の作品制作に使用された品々

台付ケース

※別紙をご覧ください。

映像展示

復活！HP「三原順に花束を」コーナー

トランク

スヌーピーのスーツケース

展示期間

期間：2月6日（金）～6月14日（日） ※好評につき展示期間を延長いたします

第一期：2月6日（金）－3月2日（月） / 第二期：3月6日（金）－4月6日（月）
第三期：4月10日（金）－4月29日（水・祝） / 第四期：5月1日（金）－5月31日（日）
第五期：6月4日（金）－6月14日（日）

休館日：毎週火・水・木曜（ただし祝日は開館）

※特別整理などで休館する場合があります。当館HP、もしくは開館日に電話にてご確認ください。

次回展示予定

■ ～赤塚不二夫生誕80年～ 赤塚キャラ誕生の秘密展

期間：6月19日（金）－10月4日（日）

場所：米沢嘉博記念図書館 1階展示室 料金：無料

※スケジュール・内容については変更の可能性があります。

米沢嘉博記念図書館

2014年度 第3回 企画コーナー展示品リスト

没後20年展 三原順復活祭

展示期間

2015年2月6日（金）－6月14日（日）

第一期：2月6日（金）－3月2日（月）

第二期：3月6日（金）－4月6日（月）

第三期：4月10日（金）－4月29日（水・祝）

第四期：5月1日（金）－5月31日（日）

第五期：6月4日（金）－6月14日（日）

主催

明治大学 米沢嘉博記念図書館

企画・協力

鈴木俊裕、白泉社

主婦と生活社、藤本由香里（明治大学教授）

70年代から80年代にかけて、「はみだしっ子」を筆頭にその作品が熱狂的に支持された三原順。1995年3月20日、42歳で病没した直後はそれほど大きく取り上げられたわけではなく、出版界から忘れ去られるかにみえた。

しかしマンガ情報誌で何度も追悼特集が組まれ、ネット上で、同人誌で、ファンたちは熱く語り続けた。

それは三原作品の復刻を求める活動に結びつき、文庫本や復刊本、豪華本の出版など、多くの成果を生みだしてゆく。

三原順の思索の深さ、児童の虐待・原発問題など、今考えるべき様々な問題への鋭い取り組み。没後20年20冊目の文庫が刊行されるこの期に、今こそ触れてほしいその作品像に迫る。

<p>R008</p> <p>イラスト集 レコード類等</p> <p>『かくれちゃったの だあれだ』(2000年復刻版, 白泉社) / チェリッシュギャラリー『三原順 自選複製原画集』全2巻(1979年~1984年, 白泉社) / サウンド・コミック・シリーズ『はみだしっ子』(キャニオン・レコード, 1983年) / チェリッシュブック『ハッシャバイ』(1977年, 白泉社)</p>	<p>R007</p> <p>『はみだしっ子』文庫 新旧カバーバージョン</p> <p>【旧装丁】『はみだしっ子』全6巻(1996年) / 『三原順傑作選 70s』(1998年) / 『三原順傑作選 80s』(1998年) / 『ルーとソロモン』全2巻(1998年) / 『X Day』(1999年) / 『ムーン・ライティング』(1999年) / 『Sound』全4巻(1999年) / 『ピリーの森ジョディの樹』全2巻(2001年)</p> <p>【新装丁】『はみだしっ子』全6巻 / 『三原順傑作選 70s』 / 『三原順傑作選 80s』 / 『ルーとソロモン』全2巻 / 『X Day』 / 『ムーン・ライティング』 / 『Sound』全4巻 / 『ピリーの森ジョディの樹』全2巻 / 『夢の中 悪夢の中』(2011年) / 『LAST PEACE』(2015年)</p>	<p>R006</p> <p>『XDay』『ピリーの森ジョディの樹』などその他の単行本</p> <p>花とゆめコミックス『ラスト・ショー』(1978年, 白泉社) / 花とゆめコミックス『ロングアゴー』(1982年, 白泉社) / 花とゆめコミックス『夕暮れの旅』(1984年, 白泉社) / ジェッツコミックス『X Day』(1985年, 白泉社) / エメラルドコミックス『夢の中 悪夢の中』(1992年, 主婦と生活社) / ミッシェコミックス『ピリーの森ジョディの樹』全2巻(1995年, 主婦と生活社)</p>	<p>R005</p> <p>『Sons』単行本</p> <p>ジェッツコミックス『Sons』全7巻(1987年~1990年白泉社)</p> <p>ジェッツコミックス『ムーン・ライティング』全2巻(1986年, 白泉社)</p>	<p>R004</p> <p>『ルーとソロモン』関連</p> <p>花とゆめコミックス『ルーとソロモン』全3巻(1979年~1981年, 白泉社)</p> <p>メルヘンの本『ルーとソロモン』(1978年, 白泉社)</p> <p>EP『ルーとソロモン』(1979年, 東芝EMI)</p>	<p>R003</p> <p>愛蔵版『はみだしっ子』 他『はみだしっ子』関連</p> <p>愛蔵版『はみだしっ子全集』全5巻(1992年~1993年, 白泉社) / 『はみだしっ子全コレクション』(1982年, 白泉社) / 『はみだしっ子語録』(1981年, 白泉社) / 『三原順のトランプランド』(1979年, 白泉社) / 『はみだしっ子絵はがき』(1979年, 白泉社)</p>	<p>R002</p> <p>『はみだしっ子』単行本 花とゆめコミックス全13巻</p> <p>花とゆめコミックス『はみだしっ子』全13巻(1976年~1981年, 白泉社)</p>	<p>R001</p> <p>三原順表紙担当雑誌等 『花とゆめ』1975年1号, 1975年19号, 1976年23号, 1976年12号, 1976年18号, 1977年2号, 1978年8号, 1979年12号, 1979年20号, 1981年8号</p> <p>『別冊花とゆめ』1977年夏の号, 1977年秋の号, 1978年冬の号, 1978年春の号, 1978年夏の号, 1981年夏の号</p>
<p>R016</p> <p>マックス特集</p> <p>【原画】はみだしっ子 partXIII 「窓のおく」前編扉(1978年『花とゆめ』8号)</p>	<p>R015</p> <p>マックス特集</p> <p>【原画】はみだしっ子 partVI 「レッツ・ダンス・オン!」扉原画(1976年『花とゆめ』13号)</p>	<p>R014</p> <p>サーニン特集</p> <p>【原画】はみだしっ子 partXV 「カッコ一の鳴く森」扉(1978年『花とゆめ』17号)</p>	<p>R013</p> <p>サーニン特集</p> <p>【原画】はみだしっ子 partVII 「夢をごらん」前編・扉(1976年『花とゆめ』15号)</p>	<p>R012</p> <p>アンジー特集</p> <p>【原画】はみだしっ子 partXIX 「つれて行って」第17回扉(1980年『花とゆめ』21号)</p>	<p>R011</p> <p>アンジー特集</p> <p>【原画】アンジーポスター(1977年『別冊花とゆめ』秋の号)</p>	<p>R010</p> <p>「グレアム特集</p> <p>【原画】はみだしっ子 partXIX 「つれて行って」第11回扉(1980年『花とゆめ』10号)</p>	<p>R009</p> <p>グレアム特集</p> <p>【原画】チェリッシュギャラリーイラスト(1979年4月20日)</p>
<p>R024</p> <p>マックス特集</p> <p>【原画】はみだしっ子 partXIX 「つれて行って」本文(1980年『花とゆめ』10号)</p>	<p>R023</p> <p>マックス特集</p> <p>【原画】はみだしっ子 partXVIII 「ブルーカラー」本文(1979年『花とゆめ』14号)</p>	<p>R022</p> <p>サーニン特集</p> <p>【原画】はみだしっ子 partXVI 「もうなにも…」本文(1978年『花とゆめ』21号)</p>	<p>R021</p> <p>サーニン特集</p> <p>【原画】はみだしっ子 partXII 「裏切者」本文(1978年『花とゆめ』5号)</p>	<p>R020</p> <p>アンジー特集</p> <p>【原画】はみだしっ子 partXIX 「つれて行って」本文(1981年『花とゆめ』14号)</p>	<p>R019</p> <p>アンジー特集</p> <p>【原画】はみだしっ子 partXVI 「もうなにも…」本文原画(1978年『花とゆめ』21号)</p>	<p>R018</p> <p>グレアム特集</p> <p>【原画】はみだしっ子 partXI 「奴らが消えた夜」本文(1977年『花とゆめ』22号)</p>	<p>R017</p> <p>グレアム特集</p> <p>【原画】はみだしっ子 partXI 「奴らが消えた夜」本文(1977年『花とゆめ』22号)</p>
<p>R032</p> <p>三原順と音楽 3</p> <p>【原画】はみだしっ子 partX 「山の上に吹く風は」本文(1977年『花とゆめ』7号) / 【遺品】『天使の歌声／エンジェル・クレア』(アート・ガーファンクル, 1973年)</p>	<p>R031</p> <p>三原順と音楽 2</p> <p>【原画】「ラスト・ショー」本文(1974年『別冊マーガレット』12月号) / 【遺品】『ひとりぼっちの野原／つれていって』(ザ・キャッツ, 1971年)</p>	<p>R030</p> <p>三原順と音楽 1</p> <p>【原画】はみだしっ子 partV 「階段のむこうには…」本文(1976年『花とゆめ』8号) / 【遺品】『IV』(レッド・ツェッペリン, 1971年)</p>	<p>R029</p> <p>三原順と書物 3</p> <p>【原画】はみだしっ子 partXIX 「つれて行って」本文(1980年『花とゆめ』1号) / 【遺品】『殺人百科陰の隣人としての犯罪者たち』(佐木隆三, 徳間書店, 1977年)</p>	<p>R028</p> <p>三原順と書物 2</p> <p>【原画】『帽子物語』扉(1992年『花曜日』2月10日冬の号) / 【遺品】『イエベは帽子が大好き』(石亀泰郎/写真, 文化出版局編集部/著, 1978年)</p>	<p>R027</p> <p>三原順と書物 1</p> <p>【原画】はみだしっ子 PartX I 「奴らが消えた夜」本文(1977年『花とゆめ』21号) / 【遺品】『The Dangerous Journey』(ToveJansson/著, ErnestBenn/刊行, 1978年)</p>	<p>R026</p> <p>デビューまで</p> <p>【原画】「マッドベイビィ」扉(1973年『別冊マーガレット』9月号, 集英社) / iPad 「デビューまで」『別冊マーガレット』(1973年3月号, 集英社)</p>	<p>R025</p> <p>デビューまで</p> <p>「はみだしっ子」原型小説ノート11冊 / 「はみだしっ子」ポツネーム帳 / 亜土ちゃんミニノート 3冊 / 「はみだしっ子」ポツネーム帳 / 『ヨーロッパのブルー・コメッツ』(ブルー・コメッツ, 1968年)</p>